

### 対応インクタンク

キヤノン BCI-9BK 7eBK 7eC 7eM 7eY 7ePC 7ePM 7eR 7eG

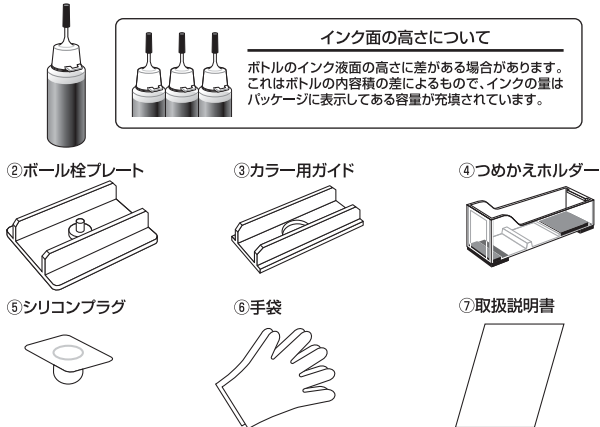
### 対応プリンタ

PIXUS iP4500 iP3500 iP4300 iP3300 iP6700D iP7500 iP6600D iP5200R  
iX5000 iP4200 Pro9000 iP9910 iP8600 iP8100 iP7100 iP6100D  
iP4100 iP4100R iP3100 MP970 MP610 MP520 MX850 MP960  
MP600 MP810 MP510 MP950 MP830 MP800 MP500 MP900  
MP790 MP770

※上記は、対象カートリッジに対応する全てのプリンタです。各インクの対応プリンタはパッケージをご覧ください。

### セット内容 (数量はパッケージをご覧ください。)

①インクボトル ※②③④は品番の末尾にSがつかないインクのみタイプには入っていません。



### インク成分

- ・ブラック…[蒸留水]70%~80%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど]1%~10%・[染料]1%~15%
- ・シアン…[蒸留水]70%~80%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど]1%~10%・[染料]1%~15%
- ・マゼンタ…[蒸留水]60%~70%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど]1%~15%・[染料]15%~25%
- ・イエロー…[蒸留水]70%~80%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど]1%~10%・[染料]1%~15%
- ・ブラック(顔料)…[蒸留水]50%~60%・[グリコール]20%~30%・[その他顔料など]5%~10%
- ・フォトシアン…[蒸留水]70%~80%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど]10%~15%・[染料]1%~10%
- ・フォトマゼンタ…[蒸留水]70%~80%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど]15%~25%・[染料]1%~5%

### ○注意事項

- つめかえをする前に、必ず取扱説明書を読んで正しく作業を行ってください。不完全なつめかえや説明内容と違った使い方をすると、インク漏れとなりプリンタに損傷を与える場合があります。
- 他社製つめかえインクと混合・併用、再生・互換品のインクタンクにつめかえて使用すると、印字不良やインクタンク不具合となる恐れがあり、これらの原因でトラブルとなった場合はユーザーサポート及びいかなる責任も負いません。
- BCI-9BK、BCI-7eシリーズのICチップ付インクタンクは、インクをつめかえてもチップエラーなどが発生した場合は使用ができなくなります。つめかえたこととインクタンクのICチップエラーは関連がありませんので、商品補償などの責はご容赦くださるようお願いいたします。

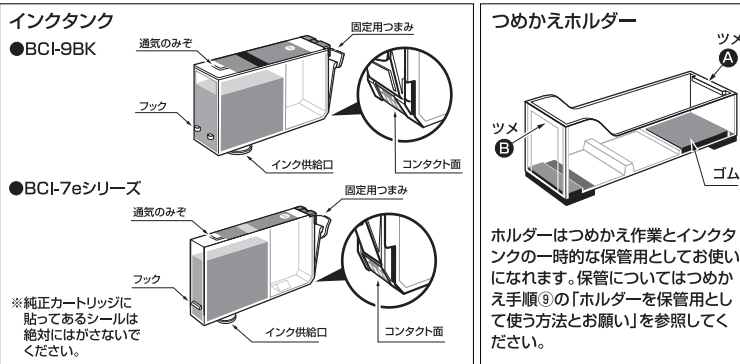
### ○使用上の注意と保管について

- 本製品のインクは身体や衣類に付着するとすぐに消えません。ご使用に際しては、不用意にインクボトルを強く握ったり、逆さまに持ったりしないでください。インクが噴き出したり、こぼれ落ちたりします。
- 子供の手の届く所に置かないでください。
- 飲むことはできません。誤って飲んでしまった場合には、医師の診断を受けてください。
- 目に入ってしまった場合には、すぐに水で洗い流してください。
- インクは開封後1年以内にご使用ください。
- つめかえた後の残ったインクは、ゴムキャップをしっかりと、直射日光や高温多湿の場所を避け、涼しい所で保管してください。インクの漏れを防ぐためにインクボトルは立てて保管してください。

### ○製品について

- 本製品のインクは弊社製インクを使用しており、純正インクの印刷色合いとは差異が生じる場合があります。
- 本製品はキヤノン(株)とは無関係で、承認を受けたものではありません。
- 製品上の原因による品質不具合が認められた場合は、同数の新しい製品と取替いたします。それ以外の責はご容赦くださるようお願いいたします。

### 各部の名称



## つめかえの前に必ずお読みください

次のプリンタでつめかえインクを使用される時の注意

PIXUS iP4500 iP3500 iP3300 iP600D iP4200 iP7500 iP6600D iP6200R iX5000 Pro9000(II)  
MP970 MP610 MP520 MP960 MP810 MP510 MP500 MP800 MP950  
MP830(※) MX850(※) (※下記を参照してください)

### インクの残量表示 (手順⑦を参照)

- インクタンクの特性上、下記ようになります。
- ①インクの残量は表示されません。
  - ②インクランプ(赤)の点滅は同じように点滅となり、点灯とはなりません。
  - ③残量表示の(X)や(!)マークが表示された場合は、同じように表示され、マークは消えません。

### 残量の確認 2回目以降のつめかえるタイミング

つめかえたインクは残量が表示されなくなって外部から分かりませんので、インクタンクをプリンタから取出して、実際のインク液面量を見て下さい。インクが底をついて空になる前に、2回目以降のつめかえを行ってください。

### インク残量検知機能の無効操作 (手順⑧を参照)

残量や残量検知のエラーでプリンタが一時停止となった時に、本書(取扱説明書)に従い操作を行ってください。事前の設定や操作はできません。一時停止となった時に行ってください。

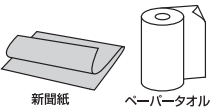
### (※)MP830 MX850 ファックス機能付き複合機の受信印刷について

残量が表示されなくなるため、一般的に自動印刷が行われなくなります。「代行受信」となりますので、手動でメモリーから印刷して下さい。(手動印刷方法はプリンタ本体の取扱説明書を参照して下さい)

※この操作による表示解除はつめかえて使用したインクタンクだけであり、新品インクタンクを取り付けた後は、残量検知機能と残量表示は有効に戻ります。  
※インクをつめかえたインクタンクやそれを使用したプリンタは、メーカーよっては不正改造にあたるものとみなされる場合があります。使用中にトラブルが発生した時、不具合、ご質問、ご相談はまず弊社にご連絡ください。  
※インクタンクのコンタクト面を汚したり、触れたりしないようにしてください。

### 準備

つめかえの時にインクがこぼれて周辺が汚れることがあります。あらかじめ新聞紙やペーパータオルを用意し、その上で作業してください。



### 使用するインクタンク

- 純正インクタンクにつめかえてください。以下のものは対応していませんので、使用しないでください。
- 再生品インクタンク
  - 互換品インクタンク
  - 他社つめかえインク使用品

### つめかえ回数(推奨限度回数)

つめかえによるインクタンク再使用は3~4回までが適当です。それ以上のつめかえはインク供給に不具合を生じ、正常な印字ができなくなる場合があります。

### つめかえ作業

本書に記載されていること以外は行わないでください。印刷不良や思わぬ事故の原因となる場合があります。

## つめかえのタイミング(インクタンクに初めてつめかえる)

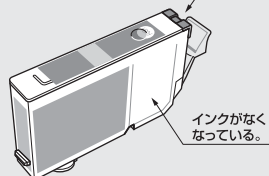
初めてインクタンクにつめかえをするタイミングは、パソコンや液晶モニターに「インク切れ(X)」のマークが表示され、インクタンクのインクランプ(赤色)が点滅し、実際にインクが無くなった時に行ってください。

※インク残量表示が「インクが少なくなっています(!)」の場合でもつめかえられますが、印刷を続けると(X)となります。また、インクの残量が多いとインクが漏れて作業が出来ない場合があります。

下記のプリンタではインクランプ(赤色)の点滅はありません。  
iP9910/iP8600/iP8100/iP7100/iP6100/iP4100R  
MP900/MP790/MP770

### [インクタンクの状態]

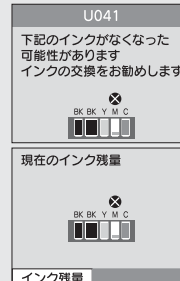
インクランプ(赤)が点滅している



### [パソコンモニター]の表示

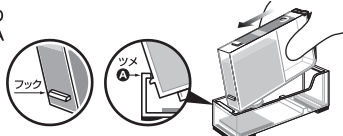


### [液晶モニター]の表示

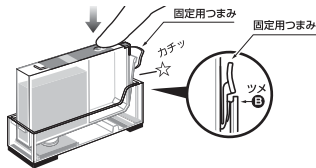


## 1 インクタンクをつめかえホルダーに固定する

1.インクタンクの図で示すところにフックがあります。フックをつめかえホルダー(④)のツメAの下に差し込むように入れます。



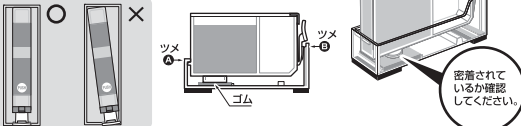
2.インクタンクのPUSH部分を押し、固定用つまみがツメBに「カチッ」という音がするまで押し込んで固定してください。



3.インクタンクのA・Bのツメに固定されて、ホルダーが外れないことを確認してください。

### 注意

カラーインクタンクは斜めに固定されないようにしてください。

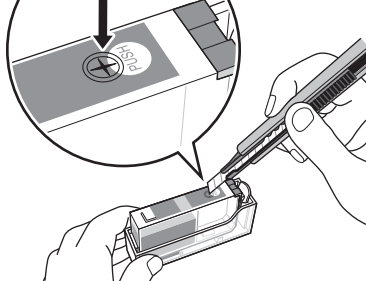
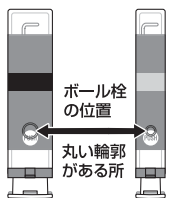


## 2 インクタンクのボール栓を落とし、インク注入口をあける

1.カッターでボール栓のある丸い輪郭の中に線状の切れ目を入れてください。(フィルムラベルの張力抵抗を除きます)

※ボール栓の位置は、イラストの矢印で示す丸い輪郭の内側にあり、「PUSH」マークと重なっています。

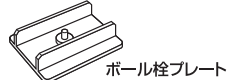
カッターで1・2カ所、切れ目をいれてください



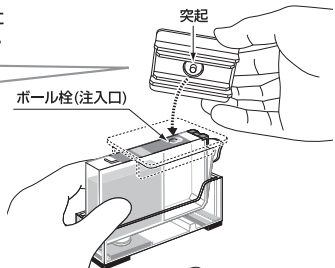
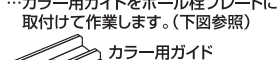
※インクタンクのラベルははがさないでください。

2.ボール栓プレートの突起をボール栓の位置に合わせて、インクタンクにセットしてください。

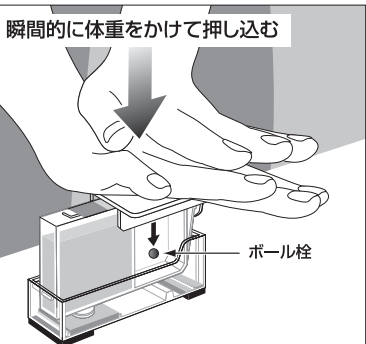
※ボール栓プレートについて  
BCI-9BKの場合  
…ボール栓プレートだけで作業します。



BCI-7eシリーズの場合  
…カラー用ガイドをボール栓プレートに取付けて作業します。(下図参照)



3.立った状態で、手のひらの手首に近いところでボール栓プレートを押し当てます。片方の手を押し当てている手の上に添えます。体重を瞬間的にかけてボール栓プレートを押し、ボール栓を中に落とし込みます。



体重をかけてボール栓プレートを落としますので、安定した机やテーブルの上にホルダーを置いてください。

※ボール栓はインクタンクの中に残りますが、インクの流れなどに支障はありません。

ボール栓の抜けた穴が注入口となります。

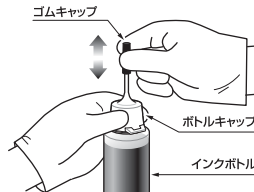
### 注意

作業でインクタンクが傾き、インク供給口とつめかえホルダーの漏れ防止ゴムの密着が離れることがあります。この状態ではインクつめかえ時に、インクが漏れる恐れがありますので、インクタンクを垂直に直して密着を確認してください。



## 3 インクボトルのゴムキャップをはずす

手袋(⑥)を着用します。インクボトルのゴムキャップを取外したり開める際はボトルキャップをしっかり押さえながら、垂直方向に動かしてください。



### 注意

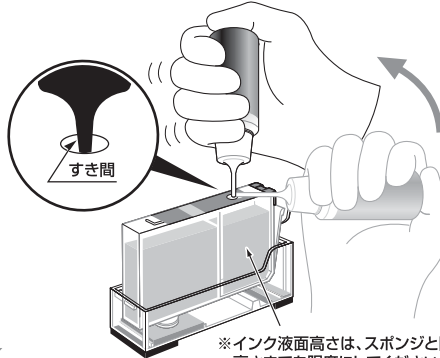
インクボトル部分は絶対に押さえないでください。インクが飛び出すことがあります。



## 4 インクを注入する

1.インクボトルのノズル先を水平より上を持って、ボール栓プレートであけた注入口にノズル先端を合わせます。そのままインクボトルが垂直になるように起こして差し込みます。ボトルをゆっくりしぼりながらインクを注入します。

※ノズルの根元で注入口をふさがれないよう、空気の抜けるすき間を確保しておいてください。



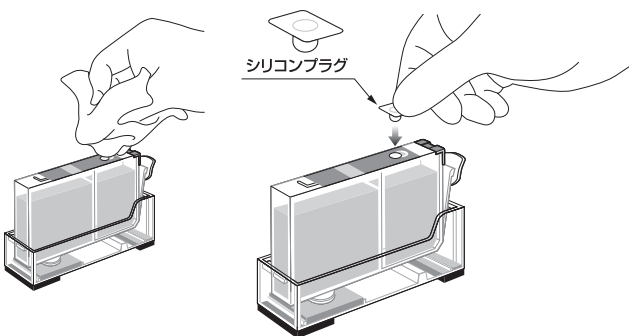
### ○インクの注入量の目安

BCI-9BKの場合  
……約15~20ml  
BCI-7eシリーズの場合  
……約7~10ml

※上記の注入量はインクを使い切った時の推定量で、お使いの状況やつめかえをするタイミングにより変わります。

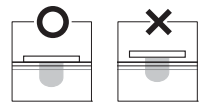
## 5 注入口にシリコンプラグを差し込む

注入口からこぼれて付着したインクをティッシュペーパーなどで拭き取ります。付属のシリコンプラグ(⑤)を注入口に差し込み、インクがもれないようにしっかりと栓をします。



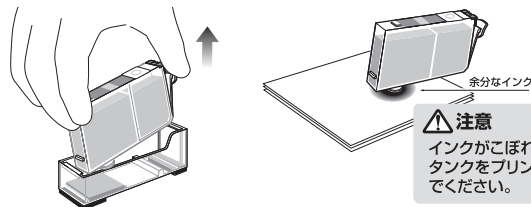
### 注意

注入口にシリコンプラグがしっかり差し込まれていないと、インクが供給口から流れ出て止まらない場合があります。しっかりとプラグを差し込んでください。



## 6 インクタンクをホルダーから外し、余分なインクを除く

インクタンクは固定用のつまみを押すとホルダーから外れます。ペーパータオルなどの上に10~20秒置いて余分なインクを除いてください。その後、インク供給口からインクが出てこないことを確かめてからプリンタにセットしてください。

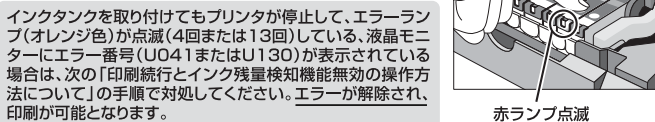


### 注意

インクがこぼれた状態でインクタンクをプリンタに装着しないでください。

## 7 つめかえたインクタンクをプリンタにセットする

インクタンクの特性上インク残量の記録と表示は復元されないため、インクが入っているインクタンクをプリンタに取り付けても「点灯」とならず、インクランプ(赤色)は「点滅」状態となります。この状態でプリンタのふたを開け、プリンタ本体のエラーランプ(オレンジ色)が点滅(点灯)しなければ、印刷が可能です。



※上記以外の点滅回数やエラー番号が表示され、インクランプ(赤色)が消えている場合は、他のエラーが予想されます。トラブルシューティングを参照してください。

※下記のプリンタは、元々インクランプ(赤色)が光らない仕様なので、すぐ印刷が可能です。  
iP9910/iP8600/iP8100/iP7100/iP6100/iP4100/iP4100R/MP900/MP790/MP770

# 印刷続行とインク残量検知機能の無効操作方法について

つめかえたインクタンクはインクタンクの特性上、使用中にエラー表示され停止しますが、印刷の続行とインク残量検知機能を無効にする操作(ボタン押し)をすれば解除され、印刷可能となります。プリンタ本体のエラーランプ(オレンジ色)が点滅(4回または13回)している、液晶モニターにエラー番号(U041またはU130)が表示されて停止した時に、表のプリンタに対応した説明内容に従いボタン操作の対処をしてください。エラーが解除され、印刷が可能となります。

MP970/MP610/MP520/MX850(※1) MP960/MP600/MP510/MP810	MPシリーズ説明②へ
iP4500/iP4300/iP3500/iP3300	iPシリーズ説明②へ
MP500/P950/MP830(※1)/MP800	MPシリーズ説明①へ
iP4200/iP7500/iP6600D/iP5200R/ iX5000/Pro9000/iP6700D	iPシリーズ説明①へ

iP9910/iP8600/iP8100/iP7100/iP6100/ iP4100/iP4100R/MP900/MP790/MP770	操作は不要。
---	--------

(※1)ファクシミリを受信印刷について注意事項を参照ください。

※印刷の続行操作をしても残量表示の(!)や(X)のマークは消えませんが、印刷は可能となります。  
※インク残量検知機能の無効操作のあとは残量表示されませんので、インクタンクのインク量に注意してください。  
※インクタンクを新しいもの、または、別のものに交換すれば、そのインクタンクのインク残量が表示されます。

## MPシリーズ説明① MP500・MP950・MP830・MP800

基本的にプリンタ本体の液晶モニターの表示を見て、プリンタ本体のボタンを操作します。

**① つめかえたインクタンクをプリンタに取り付ける**  
つめかえたインクタンクを取り付けても、赤ランプは点滅したままです。(インク残量検知機能を無効にするまでは、点滅状態が続きます。)

**② つめかえた後の印刷続行**  
① つめかえ後にカートリッジをプリンタに戻し、液晶モニターにこの表示が出たら「はい」を選択し、プリンタ操作パネルのOKボタンを押せば、印刷が可能となります。  
※つめかえ後は、つめかえた実際のインク量と液晶モニターの表示は異なります。インクが無くなるように、早めにインク残量を確認して少なくならなつた次のつめかえを行ってください。

② 印刷中または印刷開始前にインクがなくなった表示(U041)が出てエラーランプが点灯した場合は、プリンタ操作パネルのOKボタンを押してください。  
①の表示に戻り、印刷が続行または開始されます。  
①から②の状況は3回ほど繰り返されます。その後、③インク残量検知機能エラーが表示されます。

**③ インク残量検知機能エラーの表示(U130)**  
印刷が可能となった後に、液晶モニターに右のようなメッセージ表示とU130のエラー表示が出てエラーランプが点灯したら、次の「④インク残量検知機能を無効にする操作」を行ってください。  
※ファクス付き複合機MP830はこの続行操作の間は代行受信となります。下記の「④インク残量検知機能を無効にする操作」のあとから受信設定通りに受信したあとに用紙へ印刷されます。

**④ インク残量検知機能を無効にする操作**  
① ストップ/リセットボタンを5秒以上押し続けてください。  
② 自動的にエラーランプが消え、表示されたインクタンクのインク残量検知機能が無効となります。  
③ 操作を行ったインクタンクの残量が表示されなくなります。

※キヤノンMP500でBCI-7eYを使用時の操作例です。

## MPシリーズ説明② MP970・MP960・MP610・MP600・MP810・MP520・MP510・MX850

基本的にプリンタ本体の液晶モニターの表示を見て、プリンタ本体のボタンを操作します。

**① つめかえたインクタンクをプリンタに取り付ける**  
つめかえたインクタンクを取り付けても、赤ランプは点滅したままです。(インク残量検知機能を無効にするまでは、点滅状態が続きます。)

**② つめかえた後の印刷続行**  
つめかえたインクタンクをプリンタに取り付けた後、操作パネルのエラーランプが点灯して、液晶モニター表示が①のインクがなくなった時と変わっていない場合は、操作パネルのOKボタンを1回押ししてください。エラーランプが消え、液晶モニターが②の表示となり印刷続行が可能となります。  
※①の液晶モニターには(X)が表示されたままですが、OKボタンの操作によりエラーが解消されたので、印刷が続行できます。  
※はじめから操作パネルのエラーランプが消えている場合はボタン操作の必要はありません。

**③ インク残量検知機能エラーの表示(U130)**  
印刷続行が可能となった後に、液晶モニターに右のようなメッセージとエラーが表示され、操作パネルのエラーランプが点灯してしまつたら、次の「④インク残量検知機能を無効にする操作」を行ってください。

**④ インク残量検知機能を無効にする操作**  
① ストップ/リセットボタンを5秒以上押し続けてください。  
② 自動的にエラーランプが消え、表示されたインクタンクのインク残量検知機能が無効となります。  
③ 操作を行ったインクタンクの残量が表示されなくなります。

※キヤノンMP600でBCI-7eMを使用時の操作例です。

## iPシリーズ説明① iP4200・iP7500・iP6600D・iP5200R・iX5000・Pro9000

基本的にパソコン画面のエラーメッセージ表示とステータスモニターの表示を見て、プリンタ本体のボタンを操作します。

**① つめかえたインクタンクをプリンタに取り付ける**  
つめかえたインクタンクを取り付けても、赤ランプは点滅したままです。(インク残量検知機能を無効にするまでは、点滅状態が続きます。)

**② つめかえた後の印刷続行**  
① インクをつめかえたカートリッジをプリンタに戻すと、ステータスモニターのインク表示が(!)マークとなり、印刷が続行できるようになります。  
② 印刷中または印刷開始前にプリンタが停止し、操作パネルのエラーランプが4回点滅して、ステータスモニターのインク表示が(X)マークとなりましたら、リセットボタンを1回押ししてください。  
①の表示に戻り、印刷が続行または開始されます。  
①から②の状況は3回ほど繰り返されます。その後、③インク残量検知機能エラーが表示されます。

**③ インク残量検知機能エラーの表示(エラーランプ13回点滅)**  
印刷続行の操作後にプリンタが停止し、パソコンの画面にエラーメッセージが表示され、操作パネルのエラーランプが13回点滅したら、次の「④インク残量検知機能を無効にする操作」を行ってください。

**④ インク残量検知機能を無効にする操作**  
① リセットボタンを5秒以上押し続けてください。  
② 自動的にエラーランプが消え、表示されたインクタンクのインク残量検知機能が無効となります。  
③ 操作を行ったインクタンクの残量が表示されなくなります。

※キヤノンiP4200でBCI-9BKを使用時の操作例です。

## iPシリーズ説明② iP4500・iP4300・iP3500・iP3300

基本的にパソコン画面のエラーメッセージ表示とステータスモニターの表示を見て、プリンタ本体のボタンを操作します。

**① つめかえたインクタンクをプリンタに取り付ける**  
つめかえたインクタンクを取り付けても、赤ランプは点滅したままです。(インク残量検知機能を無効にするまでは、点滅状態が続きます。)

**② つめかえた後の印刷続行**  
つめかえたインクタンクをプリンタに取り付けた後、操作パネルのエラーランプが4回点滅して、エラーメッセージの表示も変わっていない場合は、操作パネルのリセットボタンを1回押ししてください。エラーランプが消え、パソコンの画面にはエラーメッセージの表示が消え、ステータスモニターの表示のみとなり、印刷続行が可能となります。  
※はじめから操作パネルのエラーランプが消え、エラーメッセージが現れない場合はボタン操作の必要はありません。  
※印刷中のステータスモニターには(X)が表示されたままとなりますが、リセットボタンを操作したことによりエラーが解消されたので、印刷が続行できます。

**③ インク残量検知機能エラーの表示(エラーランプ13回点滅)**  
印刷続行の操作後にプリンタが停止し、パソコンの画面にエラーメッセージとステータスモニターが表示され、操作パネルのエラーランプが13回点滅したら、次の「④インク残量検知機能を無効にする操作」を行ってください。

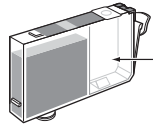
**④ インク残量検知機能を無効にする操作**  
① リセットボタンを5秒以上押し続けてください。  
② 自動的にエラーランプが消え、表示されたインクタンクのインク残量検知機能が無効となります。  
③ 操作を行ったインクタンクの残量が表示されなくなります。

※キヤノンiP4300でBCI-7eMインクタンクを使用時の操作例です。

## 9 クリーニングと印字テスト

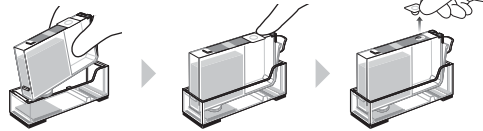
インクタンクをプリンタに取り付け、最初にクリーニングを1回行いノズルチェックパターン印刷またはテスト印字をしてください。プリントがよくない場合はもう一度クリーニングとテストを行ってください。クリーニングとテスト方法はプリンタの取扱説明書を参照してください。  
 ※クリーニングの繰り返しはインクタンクの寿命が短くなります。3回までのクリーニングで正常にプリントされない場合はトラブルシューティングを参照してください。

### ●2回目からは……



インクが無くなる前に次のつめかえを行ってください。

インクタンクをホルダーに取り付けてプラグを外し、③～⑥の手順でつめかえを行ってください。



手順③へ

### ●つめかえが終わったら

- つめかえ後の残ったインクはキャップをしっかりと閉め、直射日光の当たるところ及び高温多湿の場所は避け涼しいところに立てて保管してください。
- ホルダーは付着したインクを水で洗い流して、水分をふき取ってからパッケージに入れて保管してください。

### ●ホルダーを保管用として使う方法とお願い

- 保管方法 インクタンクをホルダーに取り付けます(手順①参照)。さらに空気の通路に接着テープを貼りつけて、インクタンクを密閉状態にして保管してください。  
 ※インク供給口全体がホルダーのゴムに密着していませんか、外れていたりするとインクの漏れや乾燥の原因となり、保管効果がなくなりますので注意してください。
- お願い 長期間の保管用ではありません。インクタンクはホルダーをしていても、長期間使用されていないと自然にインクの乾燥や供給口の目詰まりを起こす場合があります。保管中は定期的(10日に1度程度)にインクタンクをお使いになり、印刷ができるか確認することをお勧めします。

## トラブルシューティングQ&A

クリーニングの繰り返しはつめかえたインクや他のインクの消費を早め、通常動作に戻るまで時間がかかってしまいますので、下記のトラブルシューティングを参照してください。

以下の状態のインクタンクでつめかえをした場合はサポート対象外となりますので、お確かめの上お使いください。  
 1.再生インクタンク、互換品インクタンク、他社つめかえインクと混合、併用などしている場合。(純正新品使用後のインクタンク対応です) 2.つめかえ回数取扱説明に記載の推奨限度回数を超えて不具合となったもの。  
 3.他社つめかえインクや器具・道具を使用したあとのインクタンク。 4.インクがなくなって長い間放置(使用しない)されていて、つめかえ不能なインクタンク

	症状	確認事項	処置
商品について	商品内容が記載と異なる。	パッケージの側面「セット内容」と確認して下さい。	「セット内容」と異なる場合は、購入された販売店まで連絡して下さい。
	インクボトルからインクが漏れている。	パッケージやボトルに損傷はありませんか。	損傷がない場合は、購入された販売店まで連絡して下さい。
	壊れているものがある。	パッケージやボトルに損傷はありませんか。	損傷がない場合は、購入された販売店まで連絡して下さい。
インクタンクのインクランプ(赤色)について	取り付けたら点滅して点灯にならない。	つめかえ後は点灯となりません。	インクタンクの特性上、インク残量の記録と表示は復元されないため、インクが入っていてもランプは点灯とならず点滅となります。プリンタのフタを開けて、プリンタにエラーランプ(オレンジ色)が点滅(点灯)しなければ印刷が可能です。オレンジランプが点滅(点灯)している場合は、印刷の続行やインク残量検知機能の無効操作を行ってください。
つめかえ作業中	インクの漏れが止まらない。	他社のつめかえを先に行っていないですか。	他社のつめかえインクには対応していません。つめかえ方法や器具の形状が違いますので、回復出来ない場合があります。印刷不良や思わぬ事故などの原因となります。必ず純正品からつめかえて、本書に記載されていること以外は行わないでください。
	注入中にインクが漏れてくる。	つめかえホルダーの取り付け方を確認してください。	取り付け方が不完全ではないですか(浮いたり傾いたりしていませんか。)インク供給口全周がホルダーのゴムに密着していませんか、外れていたりするとインクの漏れや乾燥の原因となります。まっすくカチツと音がするまで付け直してください。
	プラグをした後にインクが漏れている。	他社のつめかえを先に行っていないですか。	プラグが注入口に合わないことがあり、回復出来ない場合があります。印刷不良や思わぬ事故などの原因となります。必ず本品の方法と付属品でつめかえてください。本書に記載されていること以外は行わないでください。
		プラグの差し込み方を確認してください。	プラグの差し込み方が不完全ではないでしょうか。インクタンクをホルダーに付け、差し込み直してください。余分なインクが残っているか入れ過ぎの可能性もあります。インクタンクをペーパータオルなどの上に置き、インク漏れが止まってから使用してください。
印刷の時	つめかえた色のインクが出ない。印刷がすれやスジが入る。または、途中で途切れる。	つめかえ回数が推奨限度回数をオーバーしていませんか。 インクが漏れていませんか。	推奨限度は3~4回までです。つめかえ回数が多くなるとインクタンクのフェルトの中に空気の泡が多くなり、インクの流れが悪くなり、かすれや途切れやすくなります。新しいインクタンクへの交換をお勧めします。 インクの漏れはノズルへのインク供給過多となり印刷ができません。プラグの差し込み方が悪くて空気が入って漏れる、余分なインクが残っていて漏れるなどの可能性があります。それぞれ確認と修正を行ってください。
	色合いがおかしい。	ノズルチェック印刷をしてください。	全部のインクが出ているか確認してください。出ているインクの色があると、色合いが変わります。上記の「インクが出ない」項目を確認してください。インクは弊社オリジナルインクを使用しており、同等の色合いとなるよう調整されていますが、若干の色差が生じる場合があります。
		他社のつめかえを先に行っていないですか。	他社のつめかえインクには対応していません。混合または併用した場合、色が変わる恐れがあります。
		純正品以外のインクタンクを使用していないですか。	再生インクタンク、互換品インクタンクには対応していません。これらの品へのつめかえはインク成分が違うため、インク漏れや印字不良となる可能性があります。純正品インクタンクにつめかえてください。
		他社のつめかえを先に行っていないですか。	他社のつめかえインクには対応していません。混合または併用した場合、色が変わる恐れがあります。
インクタンクエラーの表示	プリンタ本体のエラーランプが点滅(点灯)して、プリンタ液晶画面やPCモニターにインクタンクのエラーが表示される。	プリンタのエラーランプの点滅回数、または液晶画面のエラー番号を確認してください。	点滅回数(エラー番号)が7回(U071)、14回(U140)、15回(U150)の場合は、該当するインクタンクのICチップエラーなどによる認識エラーです。プリンタの取扱説明書またはサポート情報を参照して対処してください。インクをつめかえたことは関係ありません。
その他のエラー表示	プリンタ本体のエラーランプが点滅(点灯)して、プリンタ液晶画面やPCモニターにエラーが表示される。	プリンタのエラーランプの点滅回数、または液晶画面のエラー内容を確認してください。	点滅回数(エラー表示)が8回(廃インクの表示)の場合は、クリーニングや印刷中に排出される廃インク吸収体が満杯となる表示です。プリンタの取扱説明書またはサポート情報を参照して対処してください。インクをつめかえたことは関係ありません。

## よくあるご質問

Q1 注入口をあける(ボール栓)の位置がわからない。または、該当部分がない。	手順①②で再度確認して下さい。「キヤノン用」と表示された純正以外のインクタンク(再生品、互換品)を使用していないですか。構造が異なるため使用できません。	→手順①②
Q2 インクが入らない。インクを入れたのに漏れてくる。つめかえが出来ない。	「キヤノン用」と表示された純正以外のインクタンク(再生品、互換品)が他社品のつめかえインクを使用していないですか。構造や方法が異なるため正常につめかえが出来ない恐れがありますので、使用しないでください。	
Q3 インクを入れたのに、「残量表示」が表示されない。xや!のマークが出ている。	インクタンクの特性上、インクを入れた後でも残量記録が復元されないためにこれらのマークは再表示されます。印刷は続行可能ですので、実行して下さい。	→手順⑦
Q4 インクを入れたのに、プリンタに取付けたら赤ランプが点滅して点灯にならない。	インクを入れた後でもインクタンクの特性上、残量記録が復元されないため「点灯」に戻りません。同じように点滅が続きますが、印刷は続行可能です。	→手順⑦
Q5 「残量がない」とのエラーが表示されて、プリンタが停止した。(動かない)	手順⑧ MP/iP シリーズ説明の「②つめかえた後の印刷続行」のボタン操作を行い、エラーを解消して下さい。	→手順⑧
Q6 「残量が検知できない」とのエラーが表示されて、プリンタが停止した。(動かない)	手順⑧ MP/iP シリーズ説明の「③インク残量検知機能エラーの表示」と「④インク残量検知機能を無効操作にする」のボタン操作を行い、エラーを解消して下さい。	→手順⑧
Q7 他のエラーが表示されて、プリンタが停止した。(動かない)	つめかえによるものではなく、本体やインクタンクのエラーがトラブルの場合があります。トラブルシューティングの「インクタンクのエラー」、「その他のエラー」を参照して下さい。	→トラブルシューティング

サンワサプライ  
つめかえインク サポートセンター

tel:0120-968-268  
inksupport@sanwa.co.jp

受付時間: 月~金(土・日・祝日をのぞく)  
9:00~12:00 13:00~17:00

お願い

ご連絡を頂く際はパッケージ裏面に記載の品番をお知らせください。  
INK-00000

岡山 サプライセンター 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311  
東京 サプライセンター 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011

http://www.sanwa.co.jp/

※フリーアクセスには、050番号のIP電話からはつながりません。ご不便をおかけしますが、一般加入による固定電話、もしくは携帯電話からご利用くださいますよう、お願いいたします。